

海外安全対策情報（2019年7月～9月）

1 社会・治安情勢

ウズベキスタンでは、治安当局より一般犯罪の発生が減少傾向にある旨の発表がなされているが、詳細な犯罪統計は公開されておらず、治安情勢を正確に把握することは困難である。最近の一般犯罪の傾向としては、空き巣、車上狙い等の財産犯に加え、刃物を用いた傷害等の身体犯、また、強盗等の凶悪事案も発生している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）邦人に対する犯罪事件

8月29日夕刻、タシケント市ユヌサバッド地区に所在するタシケントタワー付近から宿泊先（同チランザール地区）へと移動するため、いわゆる「白タク」を利用した邦人旅行者（女性）が、目的地と異なる地域へ連れて行かれた上、ナイフで脅され、金品を要求されたもの。同旅行者が車外に避難したところ、犯人は車内に残された鞆を物色し、財布内にあった現金200ドル等を奪い、その他の物を車外に投棄して、現場から逃走した。

（2）今期中の当国における邦人が関係するその他の事案

無し

3 テロ・爆弾事件発生状況

無し

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害に係る誘拐・脅迫事件の発生は無し

5 日本企業の安全に関わる諸問題

無し

6 対日感情

良好な状態を保っており、特段の変化は見られない

7 その他

最近、タシケント市内各所において交通事故が多発している状況が認められており、車両乗車中に限らず、歩行中においても交通事故防止に配慮が求められる。

（了）